

多岐に渡る プラチナ需要

プラチナ需要の主要4分野

プラチナは非常に希少性が高く、特有の物理的性質及び触媒特性を持つ金属である。その用途は様々な分野に及び、そして化石燃料からのエネルギー転換に不可欠な技術にも使われる重要鉱物でもある。

プラチナは融点、密度、安定性が非常に高く、腐食にも強いいため多くの工業や製造業の過程に使われる一方で、世界的な最高級宝飾品にも使われている。

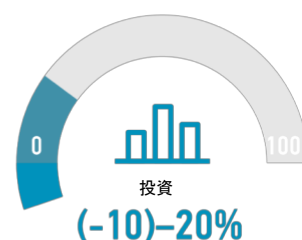
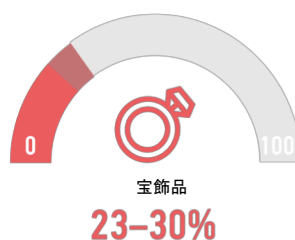
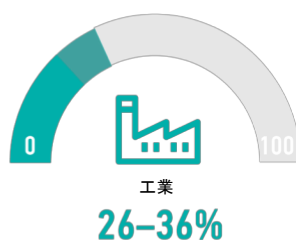
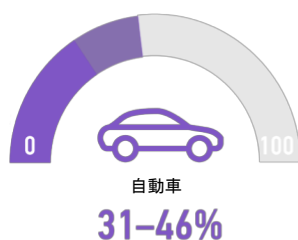
プラチナの重要な用途の一つは触媒。分子レベルの微量のプラチナがあるだけでも化学反応を促進し、燃料の軽減だけでなく生産量の増加につながる。

1970年代には世界初の自動車の浄化触媒にプラチナが使われ、今日に至るまで様々なディーゼル車の排気ガスの制御に役立っている。近年ではガソリン車の排気ガス制御にも、パラジウムの代替として使われるようになっている。

工業に使われるプラチナの需要は2013年以来、世界のGDP成長率の2倍のスピードで増えている。ガラス、石油化学、シリコン、センサーなどの製造過程にはプラチナが利用される。またハードディスクにもプラチナが使われ、世界中のコンピューター産業のクラウドストレージを支えている。さらにプラチナを触媒として水素から電力を生み出す燃料電池は、月面への着陸を可能にし、燃料電池自動車を動かす。

プラチナがエネルギー転換における重要鉱物とされるのは、燃料電池に使われる固体高分子膜技術、グリーン水素の製造に使われる固体高分子型水電解装置に不可欠だからである。

プラチナはまた人体に無害であるため、従来からの医療だけでなく、最先端の治療にも使われている。プラチナ成分を含む癌の治療薬もある。



*2018年~2022年で各分野がプラチナ需要に占めた割合の幅

投資需要

プラチナに投資するための商品は様々なものがある。インゴット、コイン、現物に裏打ちされたオンライン地金口座や上場投資信託、そして先物などだ。

プラチナを投資ポートフォリオに加えることで、ゴールドに投資するのと同様に、資産の分散化が可能となるだけでなく、

為替に対するヘッジともなる。価値保存機能があるとされるので。またゴールド同様に現物資産であることから、リスク不安にも耐えられる。

今回 ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは新たに[インフォグラフィック](#)を作成し、プラチナ需要を作る様々な要素を図解でわかりやすく説明している。



Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution, bclifford@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com



免責事項: © 2023 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。